

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

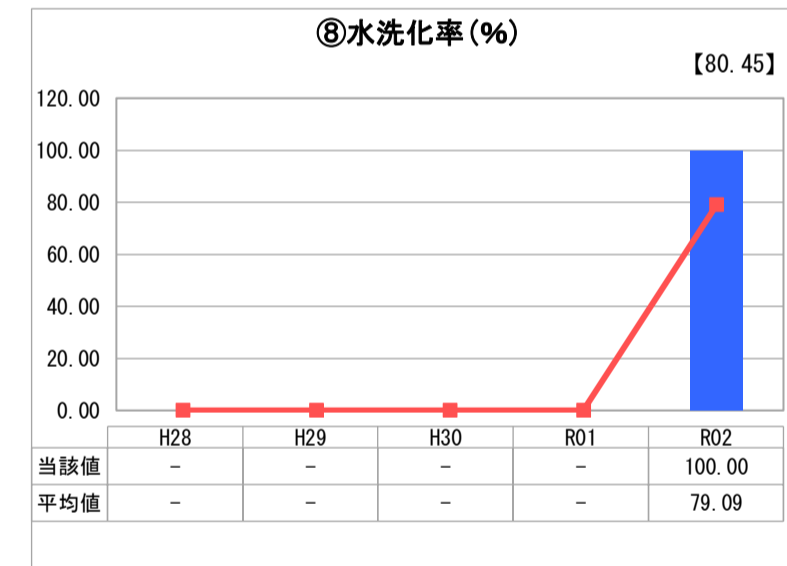
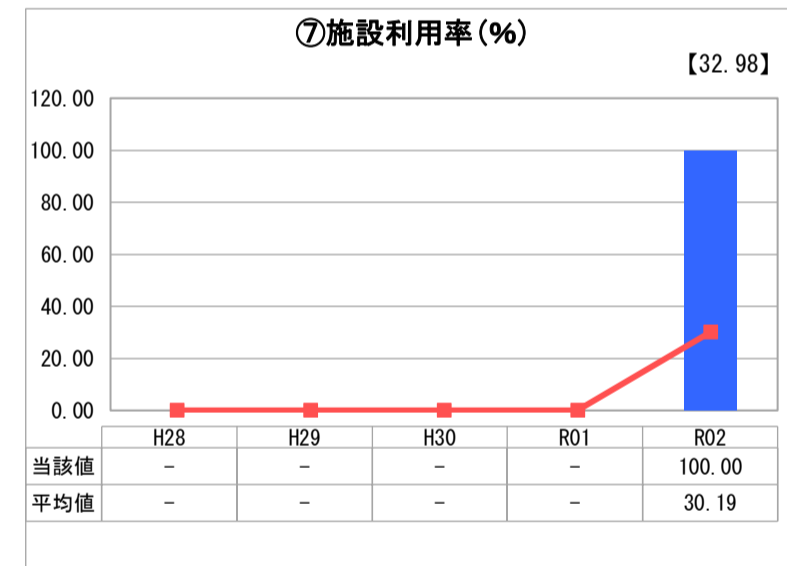
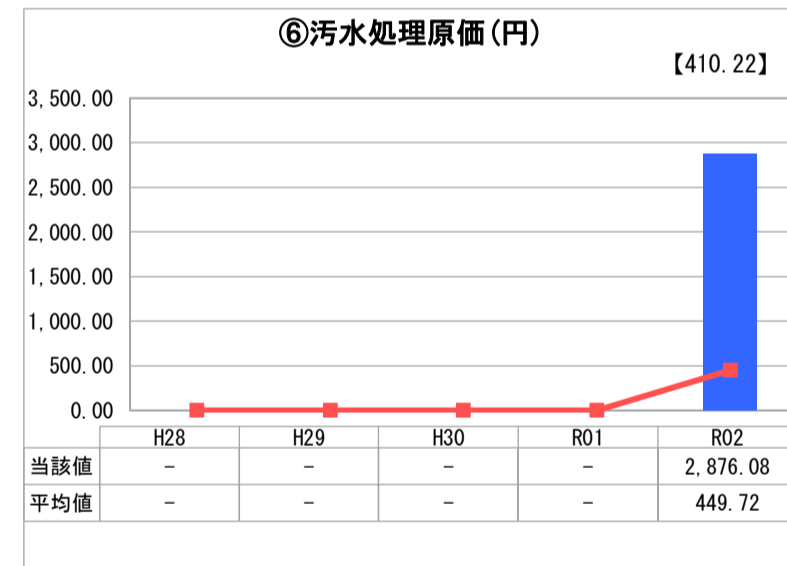
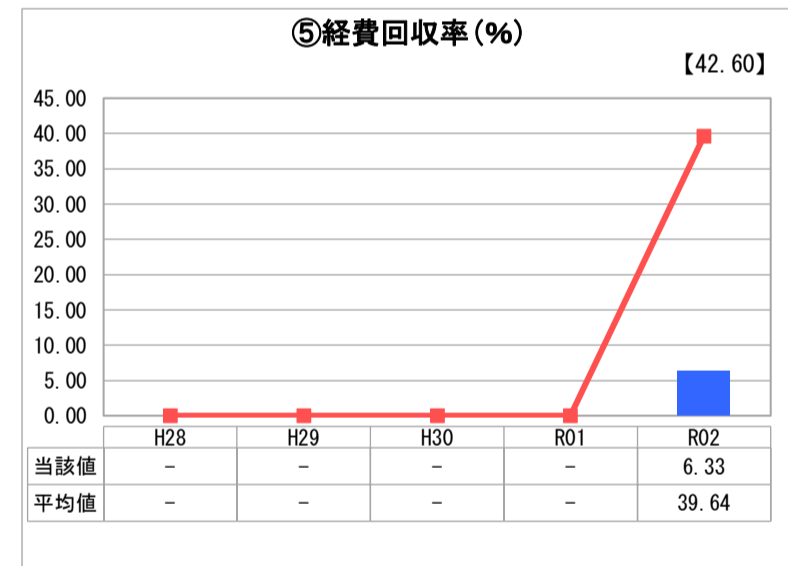
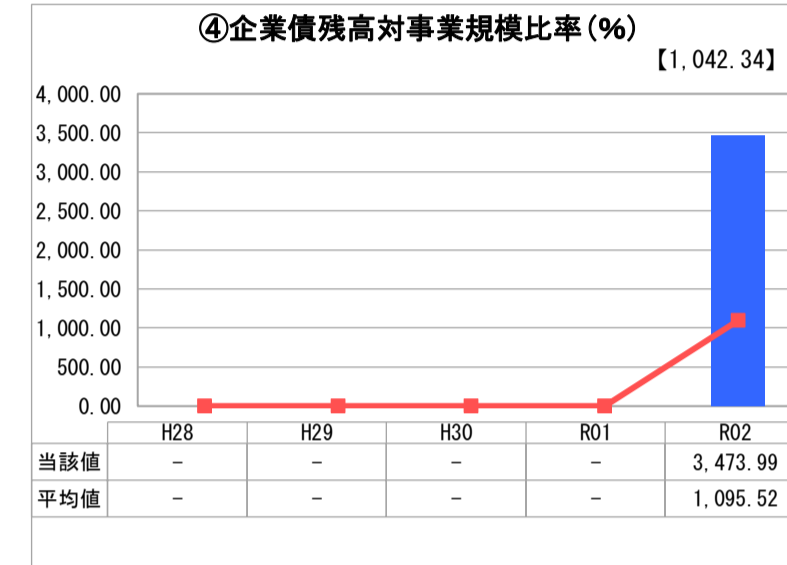
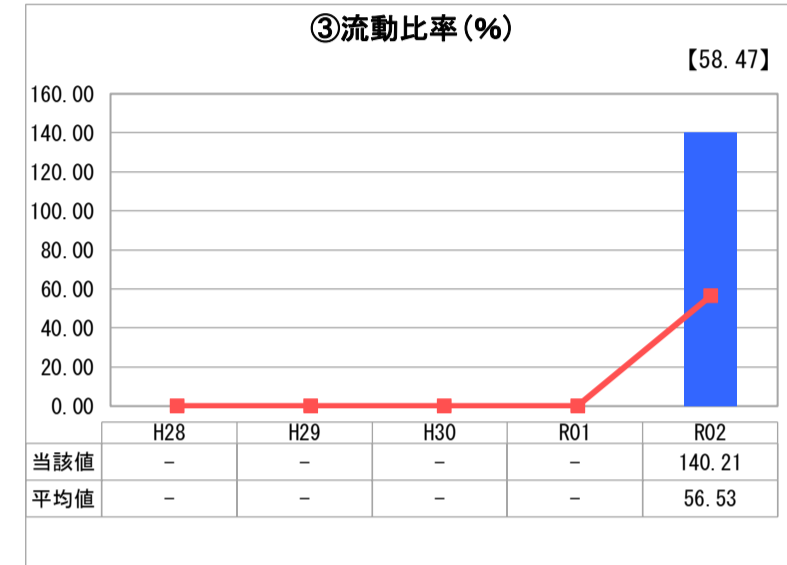
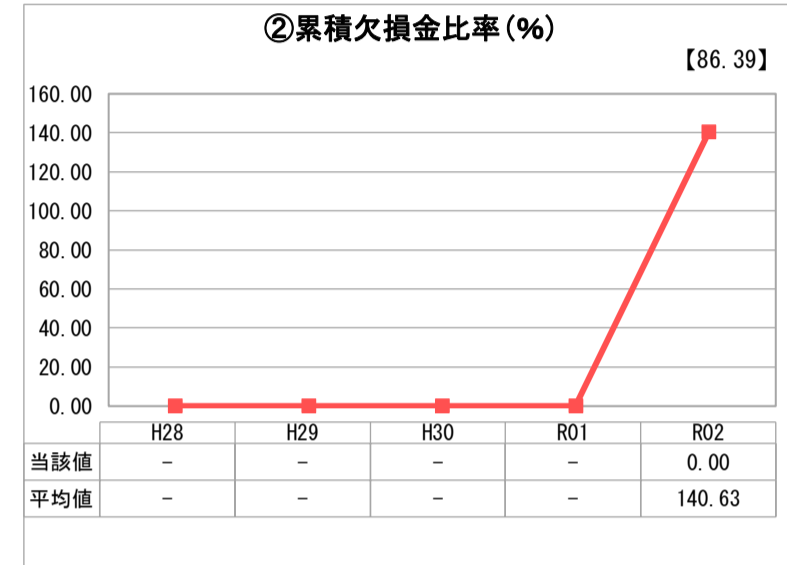
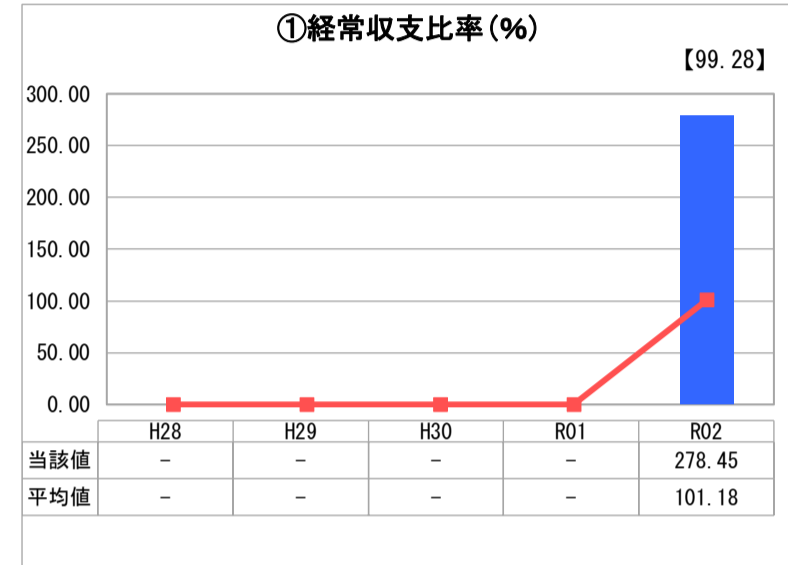
宮城県 塩竈市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	75.49	0.29	11.65	3,300

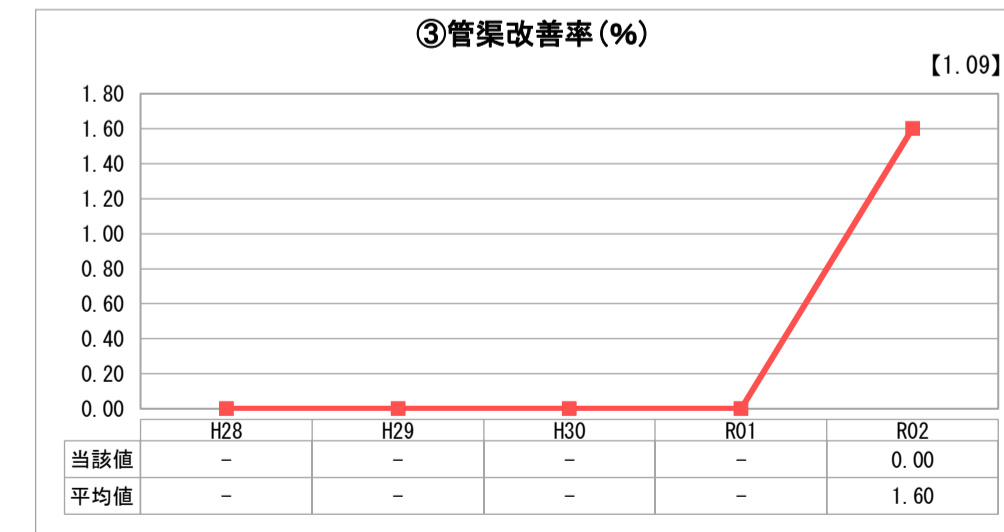
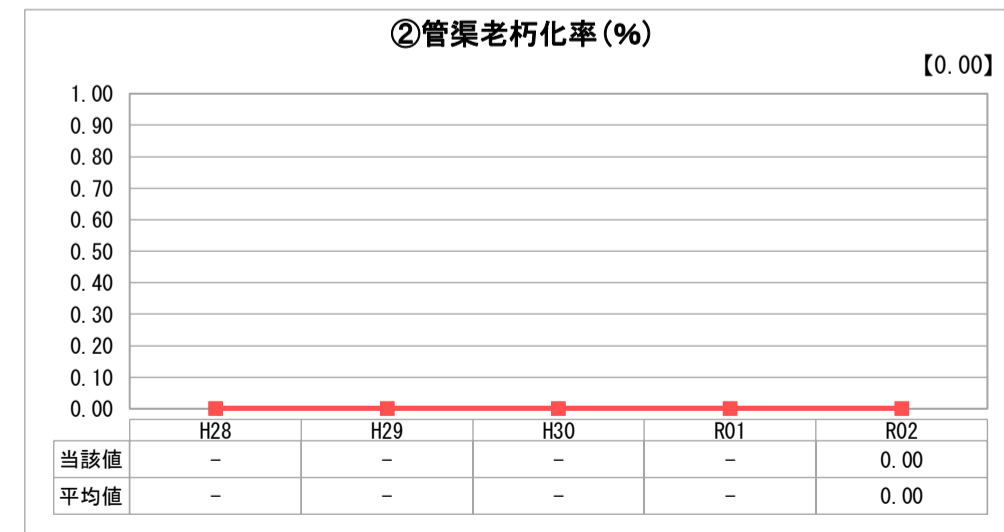
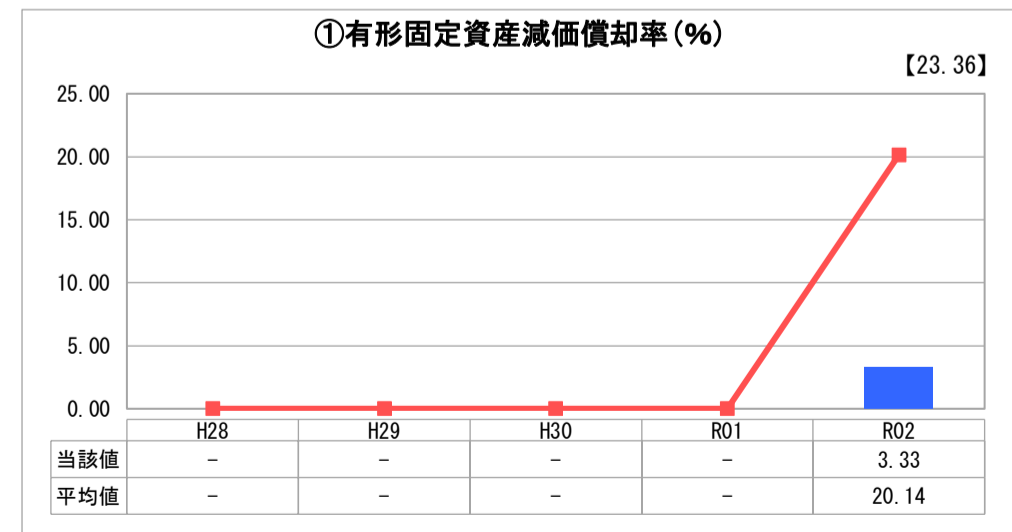
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
53,474	17.37	3,078.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
155	0.12	1,291.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から公営企業会計に移行しました。  
 ① 経常収支比率は、当該施設が過疎化の進む離島に存していることから、利用者の増加が見込めないため、基本的に100%未満で推移しているが、令和2年度は公営企業会計移行等に伴い他会計負担金が増となり100%を上回っています。  
 ② 累積欠損金比率は発生しておらず、健全な経営状態です。  
 ③ 流動比率は、100%を上回るため支払い能力は十分にあるといえます。これは、打ち切り決算による繰越事業の財源が含まれているためです。  
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体と比較して高い数値となっています。今後は、ストックマネジメント計画に基づき慎重に検証します。  
 ⑤ 経費回収率は類似団体と比較しても低いため、使用料の検証が必要となっています。使用料収入は、建設当初から本土地区と比べ安価に設置されていた経緯がありましたが、公共下水道事業と経営統合されたので、整合性を図ることも含めて検討していきます。  
 ⑥ 汚水処理原価は、類似団体と比較して高い。過疎化島嶼のため、他地域と比べ人口規模に対して施設規模が相対的に大きいため維持コストが高いものと分析します。  
 ⑦ 施設利用率は、類似団体と比較して高く、効率的に運用されているといえます。  
 ⑧ 水洗化率は、類似団体と比較して高い数値となっています。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較して小さくなっています。これは、災害復旧事業による管渠更新によると思われます。  
 管渠の老朽化が進行しています。現在、ストックマネジメント計画を策定しており令和3年度完成予定であります。今後は、ストックマネジメント計画に基づく効率的かつ効果的な施設更新を実施していきます。

## 全体総括

本市漁業集落排水事業は、その立地が過疎化の進む離島という特殊条件から、新規の利用者の増加を見込むことが困難であるうえ、現状の処理区域内人口では経営自体が非常に困難であると言わざるを得ない。  
 令和2年度に公共下水道事業と統合し公営企業会計へ移行したことから、今後は、統合した長期的な財政計画のもと、ストックマネジメント事業にとりくみ一層の事業運営の効率化に取り組む必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。